

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (1) 職務の理解 | | | |
|--------------------|---|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 研修課程全体の構成と各研修科目相互の関連性の全体像をイメージでき、学習内容を体系的に整理して知識を効率的・効果的に学習できるような素地を形成する。 福祉制度やサービス全般について理解する。 介護職の仕事内容や働く現場について理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 多様なサービスと理解 | 3 | 3 | | <内容> ・テキストをもとに福祉制度やサービス全般について講義を行い、内容について理解を深める。 ・介護保険サービス(居宅、施設)と介護保険外サービスについて理解を深める。 |
| ② 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 3 | 3 | | <内容> ・視聴覚教材のほか、現場職員の体験談により、介護現場の理解を深める。 ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージを掴む。 ・ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチの概要について理解する。 <演習実施方法> ・視聴覚補助教材 DVD を鑑賞し、介護職の仕事内容がイメージできよう、グループディスカッションを行う。 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 6 | 6 | | |

| | |
|------------|--------|
| 使用する機器・備品等 | DVD ほか |
|------------|--------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 | | | |
|---------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職は利用者が尊厳のある暮らしを実現するための支援者であることを自覚する。 ・ 高齢者虐待の定義とその対応などについて理解する。 ・ 自立支援・介護予防のための基本的視点を理解する。 ・ 人権に関する基礎知識を習得する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 人権と尊厳を支える介護 | 5 | 1.5 | 3.5 | <内容> ・利用者の尊厳についての概念や、虐待を受けている高齢者への対応等について講義を行い、内容についての理解を深める。 講義:1.5 時間 通信学習:7 問 |
| ② 自立に向けた介護 | 2 | 0.5 | 1.5 | <内容> ・介護の基本視点である自立支援について、具体的な事例を通して、利用者の残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化防止・遅延化に資するケアの在り方等について講義を行い、内容についての理解を深める。 講義:0.5 時間 通信学習:3 問 |
| ③ 人権啓発に係る基礎知識 | 2 | 2 | 0 | <内容> ・身近な人権に関することを中心に人権に関する基礎知識について講義を行い、内容についての理解を深める。 |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 9 | 4 | 5 | |

| | |
|------------|------|
| 使用する機器・備品等 | 特になし |
|------------|------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (3) 介護の基本 | | | |
|-------------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 介護職に求められる専門性と職業倫理を理解する。 介護における主要なリスクとその対応について理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・介護環境の特徴を理解した上で、介護の専門性と関係する他職種との連携の在り方について講義を行い、内容について理解を深める。 講義:0.5 時間 通信学習:1 問 |
| ② 介護職の職業倫理 | 2 | 1 | 1 | <内容> ・介護職としての職業倫理や社会的責任等について講義を行い、内容について理解を深める。 講義:1 時間 通信学習:2 問 |
| ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント | 2 | 1 | 1 | <内容> ・介護現場で出会う典型的な事故や感染等、介護における主要なリスクとその対応について講義を行い、内容について理解を深める。 講義:1 時間 通信学習:2 問 |
| ④ 介護職の安全 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・腰痛予防やストレスマネジメントなど介護職の健康管理について講義を行い、内容について理解を深める。 講義:0.5 時間 通信学習:1 問 |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|--------------|
| 使用する機器・備品等 | マスク・使い捨て手袋など |
|------------|--------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| | | | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 科目番号・科目名 | (4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | | | |
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度や障がい者総合支援制度等、最低限知っておくべき制度の目的、サービスの流れについて理解する。 各制度における専門職の役割・責務について理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 介護保険制度 | 4 | 0.5 | 3.5 | <内容> ・介護保険制度の理念や基礎的仕組みや、制度を支える財源、組織、団体の機能と役割について講義を行い、内容について理解を深める。 講義：0.5 時間 通信学習：7 問 |
| ② 医療との連携とリハビリテーション | 2 | 0.5 | 1.5 | <内容> ・医行為の考え方や医療・看護職とのチームケアについて講義を行い、内容について理解を深める。 講義：0.5 時間 通信学習：3 問 |
| ③ 障がい者総合支援制度およびその他制度 | 3 | 0.5 | 2.5 | <内容> ・障がい福祉制度の理念や仕組みのほか、個人の権利を守る制度について講義を行い、その内容について理解を深める。 講義：0.5 時間 通信学習：5 問 |
| (合計時間数) | 9 | 1.5 | 7.5 | |

| | |
|------------|------|
| 使用する機器・備品等 | 特になし |
|------------|------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (5) 介護におけるコミュニケーション技術 | | | |
|-----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 対人援助におけるコミュニケーションの目的を理解する。 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーションのあり方を理解する。 チームケアにおけるコミュニケーションのあり方を理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 介護におけるコミュニケーション | 4 | 2 | 2 | <内容> ・テキストをもとにコミュニケーションの目的やコミュニケーションの基本について理解を深める。 ・共感的理解と基本的態度について理解を深める。 <演習実施方法> ・コミュニケーション技法のワークショップを行う。 講義：2時間 通信学習：4問 |
| ② 介護におけるチームのコミュニケーション | 2 | 1 | 1 | <内容> ・テキストをもとにチームアプローチの形態、その効果と意義について理解を深める。 ・記録報告の意義と目的について理解を深める。 <演習実施方法> ・チームアプローチにおける専門性と協働についてのグループワークを行う。 講義：1時間 通信学習：2問 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|------|
| 使用する機器・備品等 | 特になし |
|------------|------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (6) 老化の理解 | | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 老化にともなうところとからだの変化を理解する。 ・ 高齢者に多い病気と日常生活の留意点を理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 老化に伴うところとからだの変化と日常 | 3 | 1.5 | 1.5 | <内容> ・テキストをもとに加齢にともなう五感の変化と日常生活に与える影響について理解を深める。 講義：1.5 時間 通信学習：3 問 |
| ② 高齢者と健康 | 3 | 1.5 | 1.5 | <内容> ・テキストをもとに高齢者に多い病気の特徴と日常生活に与える影響について理解を深める。 講義：1.5 時間 通信学習：3 問 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|------|
| 使用する機器・備品等 | 特になし |
|------------|------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (7) 認知症の理解 | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念を理解する。 ・ 認知症の中核症状・BPSDを理解する。 ・ BPSDの出現原因と具体的対応を理解する。 ・ 認知症介護を行う家族の心理や願いを理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 認知症を取り巻く状況 | 2 | 1 | 1 | <内容> ・テキストをもとに認知症ケアの視点についてを理解を深める。 講義：1時間 通信学習：2問 |
| ② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・テキストをもとに認知症の原因疾患について理解を深める。 ・原因疾患別の認知症ケアのポイントについて理解を深める。 講義：0.5時間 通信学習：1問 |
| ③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 | 2 | 1 | 1 | <内容> ・テキストをもとに BPSD の出現原因と具体的な対応方法について理解を深める。 <演習実施方法> ・事例検討のグループワークを行う。 講義：1時間 通信学習：2問 |
| ④ 家族への支援 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・テキストをもとに認知症介護を行う家族の心理について理解を深める。 ・家族への支援の方法を理解を深める。 講義：0.5時間 通信学習：1問 |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|------|
| 使用する機器・備品等 | 特になし |
|------------|------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (8) 障がいの理解 | | | |
|--|--|-------------------|-----------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 障がいの概念と障害者福祉の基本的な考え方を理解する。 高齢者の介護との違いを念頭におきながら、それぞれの障がいの特性と介護上の留意点について理解する。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学 習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 障がいの基礎的理解 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・テキストをもとに障がいの類型について理解を深める。 講義：0.5 時間 通信学習：1 問 |
| ② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・テキストをもとに身体障がい・知的障がい・精神障がいの日常生活に与える影響について理解を深める。 講義：0.5 時間 通信学習：1 問 |
| ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 | 1 | 0.5 | 0.5 | <内容> ・テキストをもとに障がい者介護を行う家族の心理について理解を深める。 ・家族への支援の方法について理解を深める。 講義：0.5 時間 通信学習：1 問 |
| (合計時間数) | 3 | 1.5 | 1.5 | |
| 使用する機器・備品等 | 特になし | | | |

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称: イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 | | | |
|-----------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 介護実践に必要なこころとからだのしくみの基礎的な知識、安全な介護方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護ができる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について理解する。 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則を理解し、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を理解する。 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法を理解し、食事に関するからだのしくみを把握し、適切な介助を行うことができる。 入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備の方法を理解し、入浴に関するからだのしくみを把握し、適切な介助を行うことができる。 排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備の方法を理解し、排泄に関するからだのしくみを把握し、適切な介助を行うことができる。 ターミナルケアの考え方、対応の仕方や留意点、介護職の役割や他職種との連携について理解し、適切な介護を行うことができる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 介護の基本的な考え方 | 3 | 1.5 | 1.5 | <内容> ・テキストをもとに利用者一人ひとりに適切な介護を行うための基本的な考えを理解し、根本に基づく介護の大切さを学習する。 講義:1.5時間 通信学習:3問 |
| ② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 | 3 | 1.5 | 1.5 | <内容> ・テキストをもとに高齢者に生じやすい心理・社会的環境の変化について学び、それに応じた高齢期のパーソナリティの変化や適応の仕方について理解する。 講義:1.5時間 通信学習:3問 |
| ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 6 | 6 | 0 | <内容> ・テキストをもとに介護の専門職として必要な身体各部名称や人体の骨格・関節筋のはたらきを理解する。 ・テキストをもとに人間のからだのはたらきをコントロールしている神経系や生体を維持するためにはたらいている自律神経系について理解する。 ・基本的動作における実施的な働きやボディメカニクスの活用を学習する。 |
| ④ 生活と家事 | 3 | 1.5 | 1.5 | <内容> ・テキストをもとに生活における家事支援の必要性の理解を深める。 ・テキストをもとに利用者が望む衣食住の支援について理解を深める。 講義:1.5時間 通信学習:3問 |
| ⑤ 快適な居住環境整備と介護 | 3 | 1.5 | 1.5 | <内容> ・テキストをもとに在宅のあり方をおして、障がい者や高齢者にとって快適な居住環境整備について学習する。 ・テキストをもとに福祉用具の基礎知識と利用方法また留意点と支援方法を学習する。 講義:1.5時間 通信学習:3問 |

| | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|
| ⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストをもとに日常生活のなかでの整容に関する基礎知識の理解を深める。 <p><演習の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体機能に合わせた衣類の選択と衣類着脱介護方法を習得する。 ・身だしなみや整容行動の意義と効果・支援方法を習得する。 |
| ⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 7 | 7 | 0 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストをもとに移乗・移動に関した安全で安楽な支援方法と、高齢者や障がい者の特性を理解し、残存機能の活用と自立支援の理解を深める。 <p><演習の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体位と姿勢の動作が自立するための観察、褥瘡の予防や援助方法を理解し学習する。 ・移乗・移動に必要な身体機能について理解し、安全で安楽な介護技術と福祉用具・補助具の使用方法を学習する。 ・外出時の介護のポイントと歩行介助の方法を学習する。 |
| ⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 7 | 7 | 0 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストをもとに食事に関する基礎知識とところとからだの要因と支援方法についての理解を深める。 ・テキストをもとに口腔ケアの意義と基礎知識を理解する。 <p><演習の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をするための自助具の特徴や誤嚥させない支援技術を学習する。 ・口腔ケアの清潔保持の方法や口腔体操について学習する。 |
| ⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 7 | 7 | 0 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストもって入浴・清潔保持に関する基礎知識とところとからだの要因と支援方法についての理解を深める。 <p><演習の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な入浴介護のポイントや手順を理解し特殊用具の特徴について学びや障がい別入浴介護技術を学習する。 ・清潔介護のポイントと手順を学び部分的な清潔維持の方法について学習をする。 |
| ⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストもって排泄に関する基礎知識とところとからだの要因と支援方法についての理解を深める。 <p><演習の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の用具の特徴と介護のポイントを理解し、排泄行動が自立できるための観察方法やおむつの特徴を理解し使用する際の介護技術を学習する。 |
| ⑪ 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識と高齢者の睡眠の特徴と知り安眠の支援を学習する。 <p><演習の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝具を整えベッドメイキングの手順とポイントを学習する。 |
| ⑫ 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 | 6 | 3 | 3 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアの基礎知識の理解を深め、終末期に出てきやすい症状を理解し、本人や家族へのケアの理解を深める。 <p>講義:3時間 通信学習:4問</p> |
| ⑬ 介護過程の基礎的理解 | 6 | 3 | 3 | <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的と意義、展開について学習する。 ・介護過程におけるチームケアの重要性と普段の体調管理の重要性の理解を深める。 <p>講義:3時間 通信学習:4問</p> |

| | | | | |
|--------------|----|----|----|---|
| ⑭ 総合生活支援技術演習 | 6 | 6 | 0 | <内容> ・介護場面において利用者の一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の理解を深め、利用者の心身の状態に合わせた介護を提供する視点を事例を通して学習する。 |
| (合計時間数) | 75 | 63 | 12 | |

| | |
|------------|---|
| 使用する機器・備品等 | (別添2-6)実技演習使用備品一覧表に記載した備品。 演習使用物品等一覧(別紙5)に記載された物品。 DVD ほか |
|------------|---|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 169

(株)スタッフ満足

商号又は名称： イキイキ介護スクール介護職員初任者研修課程

| 科目番号・科目名 | (10) 振り返り | | | |
|--------------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修全体を振り返り、研修を通じて学んだことについて相互の関連性や全体像がイメージできる。 ・ 就業後も継続して学習・研鑽する姿勢を形成する。 ・ 学習課題の認識をはかる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ① 振り返り | 2 | 2 | 0 | <内容> ・研修を通して学んだことや根拠に基づく介護の要点について講義を行うとともに、グループディスカッションなどを行い理解を深める。 |
| ② 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 | 2 | 2 | 0 | <内容> ・継続的に学ぶべき事項や介護施設等で行われている研修事例について講義し、内容について理解を深める。 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 4 | 4 | 0 | |

| | |
|------------|------|
| 使用する機器・備品等 | 特になし |
|------------|------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。